

画像解析ソフトによる部分的脾動脈塞栓術における梗塞領域の予測と梗塞容積が及ぼす臨床データへの影響の検討

2005年1月1日から2021年12月15日までに当院で施行した部分的脾動脈塞栓術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「画像解析ソフトによる部分的脾動脈塞栓術における梗塞領域の予測と梗塞容積が及ぼす臨床データへの影響の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は2005年1月1日から2021年12月15日に日本医科大学付属病院にて部分的脾動脈塞栓術治療を受けられた患者さんの脾臓梗塞容積および臨床データを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：画像解析ソフトによる部分的脾動脈塞栓術における梗塞領域の予測と梗塞容積が及ぼす臨床データへの影響の検討

研究期間：研究実施許可日から2024年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 吉田 寛

(2) 研究の意義、目的について

本研究は、術前に試行している腹部造影CT検査の際に画像解析ソフトを用いることで、術前シミュレーションが部分的脾動脈塞栓術後の梗塞領域を予測し得るかを検討することが目的です。また梗塞容積が血液データに与える影響も明らかにすることにより、本研究により術前に梗塞容積が予測でき、血液データの変化も予測しながら部分的脾動脈塞栓術を行えるようになります。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2005年1月1日から2021年12月15日までに当院で施行した部分的脾動脈塞栓術症例190例を対象とし、術前に施行している腹部造影CTから脾臓の容積および脾動脈の各支配領域の容積を画像解析ソフトを用いて算出します。部分的脾動脈塞栓術後の造影CTを用いて実際の梗塞容積を算出し、術前シミュレーションでの値と比較します。また、梗塞容積が臨床データに与える影響を検討いたします。

試料：なし

情報：年齢、性別、血液検査データ CT画像

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 病院講師 上田純志

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24212

メールアドレス：junji0821@nms.ac.jp